

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 市民団体 多文化共生を考える会 ハート51

1. 事業の趣旨・目的

①「母語による親と子の参加体験型日本語教室」

外国人の親子が日本語を使って、社会参加・自己実現ができて、健康かつ安全な自立した生活が送れるようになること。

②「介護のための日本語教室」

介護の基本的な業務を学びながら、介護に必要な表現を習得し使えるようになること。漢字400字＋介護用漢字を習得すること。

2. 運営委員会の開催について

①母語による親と子の参加体験型日本語教室

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月15日 14:00～ 15:00	多文化共生 センターさか おり	加藤順彦 長坂香織 梅田美穂 川崎博	文化庁委託日本教育 事業の意義・教室の 運営体制・生徒の募 集方法について	委員の自己紹介・教室へ の関わり方・甲府市の外国 人の現況・講座の内容・講 師の確認
8月24日 15:00～ 16:00	多文化共生 センターさか おり	加藤順彦 長坂香織 梅田美穂 川崎博	5回の教室の振り返り・ 講座内容の確認・ 生徒の募集方法につ いて	行事の中で日本語の読み 書きをしっかりと取り入れ ることの確認・生徒の反 応・講師の講評
10月5日 16:00～ 17:00	多文化共生 センターさか おり	加藤順彦 長坂香織 梅田美穂 川崎博	教室の振り返り・教材 の確認・授業内容の 確認	親子での参加における課 題について・講師の講評・ クラス別の検討
1月28日 12:00～ 13:00	多文化共生 センターさか おり	加藤順彦 長坂香織 梅田美穂	業務報告書の作成に ついて・今後のスケジ ュールの確認・参加	報告書の記入・アンケート 作成についての説明・参加 者の要望について・次年度

		川崎博	者の感想について	の日本語教室の企画
2月17日 16:00～ 17:00	多文化共生 センターさか おり	加藤順彦 長坂香織 梅田美穂 川崎博	業務報告書の確認 生徒の教室継続の要 望について	次年度の教室開催につい て・2月以降の教室運営に ついて



②介護のための日本語教室

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月3日 15:00～ 16:00	多文化共生 センターさか おり	加藤順彦 長坂香織 池浦恵 小林信子	文化庁委託日本教育 事業の意義・教室の 運営体制・生徒の募 集方法について・市 川三郷町の県営団地 訪問について	委員の自己紹介・教室へ の関わり方・市川三郷町の 外国人の現況・講座の内 容・講師・通訳の確認
8月24日 16:00～ 17:00	多文化共生 センターさか おり	加藤順彦 長坂香織 池浦恵 小林信子	5回の教室の振り返り・講座内容の確認・ 生徒の募集方法につ いて・市川三郷町の 県営団地での募集に ついて	勤務体制の変更により出 席不可能になった状況に ついて・生徒の反応・講師 の講評・通訳体制について
9月25日 15:00～ 16:00	多文化共生 センターさか おり	加藤順彦 長坂香織 池浦恵 小林信子	教室の振り返り・教材 の確認・授業内容の 確認・生徒の募集に ついて	参加募集の拡大について・ 講師の講評・通訳の講評 について

11月18日 12:00～ 13:00	多文化共生 センターさか おり	加藤順彦 長坂香織 池浦恵 小林信子	業務報告書の作成に ついて・今後のスケジ ュールの確認・参加 者の感想について・ア ンケートについて	報告書の記入・アンケート 作成についての説明・参加 者の要望について・次年度 の日本語教室の企画
1月28日 13:00～ 14:00	多文化共生 センターさか おり	加藤順彦 長坂香織 池浦恵 小林信子	業務報告書の確認・ 日本語教室の総括・ 生徒の感想・要望	日本語教室の反省・今後 の見通し・次年度の日本語 教室の企画に対する意見 交換



3. 日本語教室の開催について

- (1) 講座名 ①「母語による親と子の参加体験型日本語教室」
②「介護のための日本語教室」
- (2) 開催場所 ①母語による親と子の参加体験型日本語教室
多文化共生センターさかおり
②介護のための日本語教室
市川三郷町公民館
- (3) 学習目標 ①母語による親と子の参加体験型日本語教室
外国人の親子が日本語を使って、社会参加・自己実現ができるよう、
最低限の日本語漢字の読み書きができるようになること
②介護のための日本語教室
介護ヘルパー2級養成講座を受けるための日本語能力の伸長をはかり、
資格を取得する際の講義の理解につなげること

- (4) 使用した教材・リソース ①母語による親と子の参加体験型日本語教室
東京外国語大学の漢字教材(在日ブラジル人児童のための教材トゥカーノ・文化庁(日本語教育の標準的なカリキュラム活用ガイドブック)・自主教材
②介護のための日本語教室
自主教材「看護・介護のための漢字ワークブック」・にほんごつぎの45じかん・漢字練習帳
- (5) 受講者の募集方法
①母語による親と子の参加体験型日本語教室
県国際交流協会HP・外国人集居住団地・外国人経営の食料品店でのポスター掲示
②介護のための日本語教室
県国際交流協会HP・外国人集居住団地・外国人経営の食料品店でのポスター掲示

※配布物は次ページより添付

①母語による親と子の参加体験型日本語教室

【配布チラシ】

さかおり おやこにほんごきょうしつ **親子日本語教室**

日本語の勉強を親子で楽しくはじめませんか？
日本の文化にふれたりしながら、日本語の基礎をみんなでたのしく
学びましょう♪

日本語がわからなくて毎日の生活のなかで、ちょっとこまったことなど
気軽に聞いてくださいね。

このさかおり親子日本語教室では、学校の授業の補習もします。
日本の学校の授業のなかで、わからないところがあたらとん
きいてください。

算数や漢字は
だいじょうぶかな？
なんでもきいてお♪

【日程】 毎週 日曜日 AM9:30~12:30
(6月19日~1月28日) 年間予定表を見てください

【場所】 多文化共生センターさかおり/ギャラリー
(JR酒折駅 おりてすぐの建物です)

【受講料】 無料

【主催】 ハート51

【お問い合わせ・申し込み】 055-288-0872 加藤

文化庁平成23年度
外国人のための日本語事業



②介護のための日本語教室

【配布チラシ】

(パート51 介護のための日本語教室)

かいごのために学ぶ日本語

文化庁委託 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

ヘルパー2級養成講座で資格を取るための基礎力を養う「介護のための日本語教室」

- 1 授業の目的: 介護の基本的な業務を学びながら、①介護に必要な表現を習得し、使えるようになること、②漢字440字と介護に必要な漢字200字を習得すること、③介護の仕事とはどのようなものか知ること。
- 2 対象者: 日常生活に支障のない程度に話すことができ、平仮名が書けること。
- 3 期間と授業回数: 平成23年6月18日～平成24年1月22日 全20回
- 4 日時: 第1、第2、第3土曜日、13:30～16:30
- 5 場所: 市川三郷町市民会館 研修室3 (福祉プラザ、介護施設)
- 6 講師: 日本語指導 長坂香織 (山梨県立大学准教授)
小林信子 (ユニタス外国語学校日本語非常勤講師)
通訳 藤本ノビア香美 (介護ヘルパー2級、スペイン語 通訳)
- 7 教科書: 『介護のための日本語』 財団法人国際交流協会 (未定)
- 8 授業計画: 毎回、その日の授業の日記をつけます。 * 現在、調査中

回次	授業内容	月 日	備 考
1	開講式・ガイダンス・介護の仕事(1)	6月18日	
2	あいさつ・挨拶茶話(1)	6月25日	
3	挨拶茶話(2)・字を書くこと(1)	7月2日	DVD
4	「誰」の部分と動きを 漢字 ことば・疑問文編	7月9日	
5	挨拶茶話(3)	7月16日	

(6) 受講者の総数 ①母語による親と子の参加体験型日本語教室 26人

②介護のための日本語教室 18人

(出身・国籍別内訳 ①母語による親と子の参加体験型日本語教室

ブラジル 13人, ペルー 12人, キューバ 1人

②介護のための日本語教室

ブラジル 12人, ペルー 4人, ボリビア 2人)

(7) 開催時間数(回数) ①母語による親と子の参加体験型日本語教室60時間(全20回)

②介護のための日本語教室 60時間(全20回)

(8) 日本語教室の具体的内容

①母語による親と子の参加体験型日本語教室

回	開催日時	時間数	受講者数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
①	6月19日 9:30~12:30	3時間	10人	ブラジル国・ポルトガル語(4人)、ペルー国・スペイン語(5人)、キューバ国・スペイン語(1人)	教授者2人 補助者1人	・東京外大漢字教材1年生1~4課 ・自主教材使用
②	6月26日 9:30~12:30	3時間	6人	ブラジル国・ポルトガル語(1人)、ペルー国・スペイン語(4人)、キューバ国・スペイン語(1人)	教授者2人 補助者1人	・東京外大漢字教材1年生5~9課 ・自主教材使用
③	7月3日 9:30~12:30	3時間	9人	ブラジル国・ポルトガル語(5人)、ペルー国・スペイン語(4人)	教授者2人 補助者1人	・東京外大漢字教材1年生10~13課 ・自主教材使用
④	7月10日 9:30~12:30	3時間	7人	ブラジル国・ポルトガル語(7人)	教授者2人 補助者1人	・東京外大漢字教材1年生14~18課 ・自主教材使用
⑤	7月17日 9:30~12:30	3時間	9人	ブラジル国・ポルトガル語(5人)、ペルー国・スペイン語(4人)	教授者2人 補助者1人	・東京外大漢字教材1年生19~20課 2年生1~2課 ・自主教材使用
⑥	9月4日	3時間	4人	ブラジル国・ポルトガ	教授者2人	・東京外大漢

	9:30~12:30			ル語 (4人)	補助者1人	字教材2年生3~4課 ・自主教材使用
⑦	9月11日 9:30~12:30	3時間	9人	ブラジル国・ポルトガル語(2人)、ペルー国・スペイン語(7人)	教授者2人 補助者1人	・東京外大漢字教材2年生5~6課 ・自主教材使用
⑧	9月18日 9:30~12:30	3時間	8人	ブラジル国・ポルトガル語(4人)、ペルー国・スペイン語(4人)	教授者2人 補助者1人	・東京外大漢字教材2年生7~8課 ・自主教材使用
⑨	10月2日 9:30~12:30	3時間	12人	ブラジル国・ポルトガル語(8人)、ペルー国・スペイン語(4人)	教授者2人 補助者1人	・東京外大漢字教材2年生9~10課 ・自主教材使用
⑩	10月9日 9:30~12:30	3時間	5人	ブラジル国・ポルトガル語(2人)、ペルー国・スペイン語(3人)	教授者2人 補助者1人	・東京外国語大学漢字学習教材 ・自主教材使用
⑪	10月16日 9:30~12:30	3時間	10人	ブラジル国・ポルトガル語(4人)、ペルー国・スペイン語(6人)	教授者2人 補助者1人	・東京外大漢字教材2年生11課 ・童話教材
⑫	11月6日 9:30~12:30	3時間	9人	ブラジル国・ポルトガル語(2人)、ペルー国・スペイン語(7人)	教授者2人 補助者1人	・東京外大漢字教材2年生12課 ・童話教材
⑬	11月13日 9:30~12:30	3時間	6人	ブラジル国・ポルトガル語(1人)、ペルー国・スペイン語(5人)	教授者2人 補助者1人	・東京外大学漢字教材2年生13課 ・自主教材使用
⑭	11月20日 9:30~12:30	3時間	10人	ブラジル国・ポルトガル語(3人)、ペルー国・スペイン語(7人)	教授者2人 補助者1人	・東京外大漢字教材2年生14~16課 ・自主教材使用
⑮	12月4日	3時間	8人	ブラジル国・ポルトガ	教授者2人	・東京外大学

	9:30~12:30			ル語(3人)、ペルー国・スペイン語(5人)	補助者1人	漢字教材2年生16~17課 ・自主教材使用
⑯	12月11日 9:30~12:30	3時間	11人	ブラジル国・ポルトガル語(1人)、ペルー国・スペイン語(10人)	教授者2人 補助者1人	・東京外大漢字教材2年生18課 ・自主教材使用
⑰	12月18日 9:30~12:30	3時間	12人	ブラジル国・ポルトガル語(2人)、ペルー国・スペイン語(10人)	教授者2人 補助者1人	・クリスマスの飾り付けを作りながらの日本語会話 ・自主教材使用
⑱	1月15日 9:30~12:30	3時間	8人	ブラジル国・ポルトガル語(1人)、ペルー国・スペイン語(7人)	教授者2人 補助者1人	・東京外大漢字教材2年生19~20課 ・自主教材使用
⑲	1月22日 9:30~12:30	3時間	9人	ブラジル国・ポルトガル語(2人)、ペルー国・スペイン語(7人)	教授者2人 補助者1人	・東京外国語大学漢字学習教材復習 ・自主教材使用
⑳	1月28日 9:30~12:30	3時間	9人	ブラジル国・ポルトガル語(2人)、ペルー国・スペイン語(7人)	教授者2人 補助者1人	・東京外大漢字学習教材2・3年生総括・アンケート・全体の振り返り

②介護のための日本語教室

回	開催日時	時間数	受講者数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
①	6月18日 13:30~16:30	3時間	6人	ブラジル国・ポルトガル語(6人)	教授者2人 補助者1人	ガイダンス・オリエンテーション みんなの日本語1
②	6月25日 13:30~16:30	3時間	6人	ブラジル国・ポルトガル語(6人)	教授者2人 補助者1人	介護のことばと漢字ワーク

						ブック 6 章・8 章・みんなの日本語 1
③	7 月 2 日 13:30~16:30	3 時間	9 人	ブラジル国・ポルトガル語 (9 人)	教授者 2 人 補助者 1 人	漢字学習帳・にほんごつぎの 4 5 時間・自主教材「食事介助」
④	7 月 9 日 13:30~16:30	3 時間	6 人	ブラジル国・ポルトガル語 (6 人)	教授者 2 人 補助者 1 人	ワークブック「整容介助」・自主教材「衣服の着脱」
⑤	7 月 1 6 日 13:30~16:30	3 時間	8 人	ブラジル国・ポルトガル語 (8 人)	教授者 2 人 補助者 1 人	にほんごつぎの 4 5 時間・自主教材「衣服の着脱介助」
⑥	9 月 3 日 13:30~16:30	3 時間	1 人	ブラジル国・ポルトガル語 (1 人)	教授者 2 人 補助者 1 人	漢字学習帳・ワークブック「体」・自主教材使用
⑦	9 月 1 0 日 13:30~16:30	3 時間	2 人	ブラジル国・ポルトガル語 (2 人)	教授者 2 人 補助者 1 人	漢字学習帳・自主教材「椅子からの立ち上がり介助」
⑧	9 月 1 7 日 13:30~16:30	3 時間	2 人	ブラジル国・ポルトガル語 (2 人)	教授者 2 人 補助者 1 人	漢字学習帳・自主教材「排泄介助」「寝返り介助」
⑨	1 0 月 1 日 13:30~16:30	3 時間	1 人	ブラジル国・ポルトガル語 (1 人)	教授者 2 人 補助者 1 人	漢字学習帳・自主教材「入浴介助」「衣服の着脱」復習
⑩	1 0 月 8 日 13:30~16:30	3 時間	8 人	ブラジル国・ポルトガル語 (3 人)、ペルー国・スペイン語 (5 人)	教授者 2 人 補助者 1 人	福祉用具についての講義および実習
⑪	1 0 月 1 5 日	3 時間	10 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者 2 人	漢字学習帳・自

	13:30~16:30			ル語(5人)、ペルー国・スペイン語(5人)	補助者1人	主教材「起き上がり介助と清拭」
⑫	11月12日 13:30~16:30	3時間	8人	ブラジル国・ポルトガル語(5人)、ペルー国・スペイン語(3人)	教授者2人 補助者2人	認知症サポーター養成講座
⑬	11月19日 13:30~16:30	3時間	4人	ブラジル国・ポルトガル語(3人)、ペルー国・スペイン語(1人)	教授者2人 補助者2人	漢字学習帳・自主教材「食事介助」「衣類着脱介助」の復習と記録の練習
⑭	11月26日 13:30~16:30	3時間	5人	ブラジル国・ポルトガル語(3人)、ペルー国・スペイン語(2人)	教授者2人 補助者2人	漢字学習帳・自主教材「起き上がり介助と清拭」の復習
⑮	12月3日 13:30~16:30	3時間	3人	ブラジル国・ポルトガル語(3人)	教授者2人 補助者2人	老人福祉施設の見学・入所者とのお話、歌、体操・質疑応答
⑯	12月10日 13:30~16:30	3時間	3人	ブラジル国・ポルトガル語(2人)、ペルー国・スペイン語(1人)	教授者2人 補助者2人	漢字学習帳・介護のための日本語・自主教材「看護・介護の言葉」
⑰	12月17日 13:30~16:30	3時間	5人	ブラジル国・ポルトガル語(3人)、ペルー国・スペイン語(2人)	教授者2人 補助者2人	漢字学習帳・自主教材「排泄介助」、「足浴」の実習
⑱	1月14日 13:30~16:30	3時間	5人	ブラジル国・ポルトガル語(4人)、ペルー国・スペイン語(1人)	教授者2人 補助者2人	漢字学習帳・自主教材「足浴」、「入浴介助」の報告書の書き方について
⑲	1月28日 13:30~16:30	3時間	5人	ブラジル国・ポルトガル語(3人)、ペルー国・スペイン語(2人)	教授者2人 補助者2人	介護施設職員の講話および介護分野の説

						明、質疑応答、アンケート
⑳	2月4日 13:30~16:30	3時間	8人	ブラジル国・ポルトガル語(6人)、ペルー国・スペイン語(2人)	教授者2人 補助者2人	自主教材「介護」「看護」の漢字の総復習 アンケート実施

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

① 母語による親と子の参加体験型日本語教室

7月3日 「日本の行事について・七夕祭り」

在日ブラジル人児童のための教材より1年生で習う漢字10~13課

日本の季節行事や風習について知るために七夕飾りを作る

- ・日本の季節行事について何を知っているか質問し、いろいろあげてもらう
- ・七夕について、その歴史・由来について説明

紙芝居を用いて、織姫・彦星の話、中国と日本の文化の歴史などを説明

- ・七夕飾りを作る

短冊に願い事を書き、笹に吊るす・親子で折り紙を使い、切り紙や折り紙をして
笹に飾る

(地元の学校や保育所に子どもが通っていて、こういった行事で作った作品など色々なものを持ち帰って来ても分からず、また学校で行事に必要なものを準備するように言われたりするのだが、それが何のためなのかよく分からなかったようだ。

少しでも知ると、親も一緒に楽しめたり、理解が深まると思った。

また、学校からの通知・お知らせなどが良く分からず、難儀しているとのことであった。

こういった教室があると、日本の学校での子どもの様子を少し理解できるのではないかと改めて思った。)



10月2日「漢字を覚えよう/日常の日本語会話に慣れよう」

小学校2年生で習う漢字の練習/レストランでの会話

・東京外国語大学HPより

在日ブラジル人児童のための教材より9～10課

9課・・・長い・高い・新しい・古いなどの形容詞について

10課・・・心・思います・考えます・言いますなどの動詞について

これらの言葉を使って、それぞれ短い文章なども作成してもらう

・日常の日本語会話に慣れよう

レストランという場面での日本語会話を実際に店員と客というシチュエーションで

二人一組となってやってみる

お～なります(尊敬語)

～か?(疑問形)

数の覚え方

日本食のことば・・・おひや、おつくり、きつねうどん

(生徒のレベルの差がかなりあり、ほぼ一人一人の対応となった。全く話せない方から、漢字2年生レベルは大丈夫という方までいて、講師の対応が不十分だったと思う。日本語会話は、日本での生活の不安や地域社会に参加していくために日本の日常的な場面を想定したものを中心にした。

子どもたちは日本の公立学校に通っており日本語会話は問題ないが、親が日本語ができないため宿題などをみることができない。当教室では、そういった宿題や普段の学習で困った点などを聞きながら対応した。)



② 介護のための日本語教室

6月25日 あいさつ・食事介助(1)

- ・ 13:30~14:40 『みんなの日本語1 漢字(英語版)』
漢字のベーシックストロークを練習した。かなり時間がかかってしまった。
漢字の書き方は「左から上から高いところから始める」ことを確認した。
- ・ 14:40~15:20 『介護のことばと漢字ワークブック』
6章「食事介助」より、知っている単語と読める漢字がどのくらいあるか、
語彙リストをチェックしてもらった。語彙数は39語。ほとんどわかる人も
いれば、数個しかわからない人もいた。ひらがなより、漢字のほうが意味が
よくわかるという人もいた。
漢字の練習は、リストに載っている物からするように指示し、他は各個人に
任せることにした。
- ・ 15:30~16:00 『場面から学ぶ介護の日本語』
8章「食事」より、覚える語彙を導入。その後、会話をCDで聞いた。
利用者の名前、状態を聞き取り、意味を確認した。皆さん、よく聞けるように
感じた。
- ・ 16:00~16:30 『食事介助』
食事の意味や大切さ、食事環境について、みんなで意見を出し合いながら
考えていった。
皆さん活発に発言をしていた。導入語彙はほとんど知らなかったようなので、
覚えるのが大変かもしれない。
(ホワイトボードを用意したが、もっと大きいキャスター付きでないと不便だと感
じた。模造紙を持ってきて、壁に貼り付けて使用した。
導入漢字、語彙の量が多いので工夫が必要か。一度にまとめて導入、またはチェ
ックするのはどうか。
重なる物もかなりあるはずなので、介護技術+ワークブック+場面の日本語で
うまくできないか。)



10月15日 清拭・起き上がり介助

・ 13:30～15:00

「起き上がり介助と清拭」の資料読み・起き上がり介助のDVD視聴および
起き上がり介助の実技

・ 15:10～16:20

「起き上がり介助と清拭」の資料より、て形を使った表現を確認
『場面で学ぶ介護の日本語』より12課「清拭」の会話部分を読み、
必要な声かけ表現を練習

・ 16:20～16:30

前回の宿題回収・今後の予定変更の伝達

(前回に続いて今回も新規参加者あり。日本語が話せても読み書きがあまり
できない人がほとんどなので、確認作業に時間がかかった。

ポルトガル語の通訳者がいなかったが、日本語の力が低い人がいるので
通訳者の必要を強く感じた。DVDの画面が小さくて見にくかった。
マットが2組あり、実技がたくさんできた。)



4. 事業に対する評価について

(1) 当初の学習目標の達成状況

①母語による親と子の参加体験型日本語教室

公立学校で日本語を学ぶ子どもたちに比べて、親たちの日本語漢字の読み書きのレベルは劣るのが普通だが、親子で一緒に勉強することによって、親たちの日本語を学ぶ姿勢を子どもたちに見せられることが出来た。親たちも初めて子どもたちと一緒に日本語の漢字を勉強できたことで、もっと日本語に親しみを感じてくれた。

②介護のための日本語教室

介護分野に対する認識度が向上し、介護施設の訪問・講義により介護施設での仕事に対する生徒の関心度が高まった。二人の生徒はヘルパー2級の養成講座へ通うことを決めた。

(2) 学習者の習得状況

①母語による親と子の参加体験型日本語教室

親に対して日本語の漢字教材3年生を完了とまではいかなかったが、漢字の書き順、意味等も素直に学んでくれた。親たちの日本語レベルに差がみられたが、会話では分からないところはお互いにフォローする場面もあり、全員が日本語の習得に集中してくれた。

②介護のための日本語教室

ヘルパーの仕事をしている講義補助者の助言で、介助の方法などの模擬演習を多く取り入れたので、生徒の介護分野で使用する日本語レベルは良くなった。

(3) 日本語教室設置運営の効果、成果

①母語による親と子の参加体験型日本語教室

地域での無料日本語教室がない中で、外国人の親たちも今後とも日本で生活していく上で、日本語の漢字の読み書きを学ぶことの大切さに気付いてきており、特に子どもたちと一緒に勉強することで親子の絆が深まる様子も見て取れた。

②介護のための日本語教室

2年続けての介護のための日本語教室の開催であり、興味本位よりも実際にヘルパー職を目指している外国人が参加した。工場での仕事が減っている現状下、日本語の漢字の読み書きをもっと勉強しないとイケないという生徒の意欲が感じ取れた。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

①母語による親と子の参加体験型日本語教室

酒折という学生が多い雰囲気の中での外国人のための日本語教室ということで、留学生が覗きに来ることもあり、地域の人たちが周りに外国人がいるという状況を理解してくれるのに役立った。日本語教室に関心を持つ日本語ボランティアが増えた。

②介護のための日本語教室

町の公民館を無償で借りることが出来、教育委員会との接点ができ、教室に日本語

ボランティアとして教育委員が参加したり、町の協力体制を得やすくなった。

(5) 改善点, 今後の課題について

① 現状

①母語による親と子の参加体験型日本語教室

無料にもかかわらず、日本語教室に通う外国人は少ない。いまだに呼びかけをしないと参加者の増加につながらないのが現状である。

②介護のための日本語教室

いまだ工場での組み立て、検査、ライン等の仕事があるので、今のうちになんとかヘルパー2級の資格を取りたいという外国人が少ない。また、介護現場での仕事内容が分からない人が多く、ただ単に大変な仕事と思っている人がいる。

② 今後の課題

①母語による親と子の参加体験型日本語教室

外国人児童の高校進学率が低い現状下、いかにして親の日本語学習の重要性の理解度を高めていくか、ラテン系外国人グループとの話し合いが必要となる。

②介護のための日本語教室

日本語の漢字の読み書きもさることながら、介護現場で使うやさしい日本語の話し言葉も学んでいく必要がある。外国人の中にも60歳以上の高齢者が増えているので、もっと介護というものに対する外国人の理解を深めることが大切。

③ 今後の活動予定, 展望

①母語による親と子の参加体験型日本語教室

教育現場の先生方と外国人児童の高校進学についての話し合いを持ちたい。日本語を母語としない外国人の親と子の高校進学のためのガイダンスの開催を企画したい。外国人の親子が共に日本語を学ぶ機会を増やしていきたい。

②介護のための日本語教室

次年度も引き続き介護のための日本語教室を開いて、外国人のヘルパー2級の養成を図っていく。そうすることによって、外国人も今のうちにヘルパー2級職の資格を取ることの重要性に気付くと考えられる。

(6) その他参考資料

①母語による親と子の参加体験型日本語教室

【実施アンケート】

ハート51 母語による親と子の参加体験型日本語教室 - さかおり

『ハート51 親と子の日本語教室』についてのアンケートにご協力ください。

以下の質問についてお答えください。

① 授業の、授業の、期間について

1. 授業の、回数は全20回でしたが、どうでしたか。

・多い ・ちょうどいい ・少ない ・その他 ()

2. 月に3回でしたが、どうでしたか。

・多い ・ちょうどいい ・少ない ・その他 ()

3. 1回3時間でしたが、どうでしたか。

・長い ・ちょうどいい ・短い ・その他 ()

② 授業の、内容について

1. 日本語、特に漢字の読み書きについて勉強することができましたか。

・よくできた ・だいたいできた ・あまりできなかった ・ほとんどできなかった
・その他 ()

2. 授業はわかりやすかったですか。

・わかりやすかった ・あまりわかりやすくなかった ・わからなかった
・その他 ()

3. 授業の中でよかったと思うものに○をしてください。

・母国紹介 ・日本の絵本を読む ・七夕の飾り付け ・漢字の読み書き

・お月見 ・日本の楽器 ・日本の遊び・かるた ・クリスマス

飾り付け ・日本語による会話 ・講師の説明

4. 教室に来て、自分の日本語が上達したと思いますか？

・上達した ・ちょっとは良くなった ・変わらない

5. これから日本人ともっと会話をしたいと思いますか？

・もっとしたい ・すこししたい ・そうは思わない

②介護のための日本語教室

【実施アンケート】

ハート51 介護のための日本語教室 アンケート調査票 2012年 1月28日

『ハート51 介護のための日本語教室』についてのアンケートにご協力ください。

以下の質問についてお答えください。

① 授業の期間について

1. 授業の回数^{かいすう}は全20回でしたが、どうでしたか。
・多い ちょうどいい ・少ない ・その他 ()
2. 月に3回でしたが、どうでしたか。
・多い ちょうどいい ・少ない ・その他 ()
3. 1回3時間でしたが、どうでしたか。
・長い ちょうどいい ・短い ・その他 ()

② 授業の内容^{ないよう}について

1. 介護の仕事^{かいご}について知ることができましたか。
・よくわかった だいたいわかった ・あまりわからなかった ・ほとんどわからなかった
・その他 ()
2. 授業はわかりやすかったですか。
 わかりやすかった ・あまりわかりやすくなかった ・わからなかった
・その他 ()
3. 授業の中でよかったと思うものに○をしてください。
・介助の学習^{かいじょ がくしゅう} (○) ・漢字学習 (○) ・報告書の書き方 (○)
・腰痛体操 (○) ・見て触れて福祉用具体験講座^{を かくしゅうぐたいけんこうざ} (○)
・認知症^{にんちしゅう} サポーター養成講座^{ようせいこうざ} (○) ・日本の歌^{にほん うた} (○)
・トリアス見学^{けんがく} (○) ・トリアス副施設長 苗村久美子先生^{よしくせつちょうなえむらくみこ せんせい}の講義 (○)

③ 教室の継続^{けいぞく}について

1. 教室をまた開いたほうがよいと思いますか。
 そう思う ・そうは思わない
・その理由^{りゆう} (主に介護についてきよみがある人がいると気づきながら)
2. 教室をまた開いたら、友達や知り合いに受講^{じゅんぎょう}をすすめますか。
 すすめる ・あまりすすめない ・すすめない
・その理由 ()

④ その他、^{いけん}意見、^{かんそう}感想を書いてください。

この講座ではいろいろ学習できて、とても
よかったです。

今年はヘルパー2級の資格を習得したい
と思います。

ご協力、ありがとうございました。